

# 平成27年度事業計画書

特定非営利活動法人 浅間・吾妻エコツーリズム協会

## 1 事業実施の方針

前年に引き続き、当地域の自然・歴史・伝統・文化を感じることができるエコツアー／体験プログラムの開発拡充に励み、当協会ホームページで提示し、紹介・斡旋を行う。今年度目標とする整備分野／商品ラインナップは以下の通り。

- ① かねてから計画していたが未だに実行できていない案件ではあるが、地域の宿泊施設が修学旅行、教育旅行、或いは一般団体客を誘致獲得しやすくするためのツールとして、教育旅行／体験学習モデルプランを当協会ホームページ上で提示する。
- ② これまで中之条町暮坂で行ってきた「樹木の紙でお面づくり」「ツリーハウス/秘密基地づくり」「木登り体験」、或いは岩櫃城忍びの乱で設営した「忍者修行わあるど」などのアクションプログラムのカテゴリを作り、販売を開始する。
- ③ 中之条町入山根広で行ってきた「こんこん草履づくり」「平草履づくり」「シナ縄づくり」「すげむしろ織り」等の伝統的工芸品・民芸品づくりは、基本的には「ねどふみの里」「よってがねえ館」を紹介するだけであるが、当協会の指導者が出張指導できるようになったものについては当協会でもラインナップし販売する。
- ④ 2016年NHK大河ドラマ『真田丸』放映に向け、「戦国真田の山城をめぐるエコツアー」カテゴリを新たに設置する。山城めぐりは土塁、曲輪、堀などの地形を見るのが楽しみなので、葉の茂っていない時期である11月中旬～4月が好ましく、2月～3月のスノーシュー時期を除けば当協会の閑散期にマッチする。また、昨年から実施している【シリーズ】「戦国真田の吾妻侵攻と、吾妻の山・里・花を訪ねるエコツアー」は、周辺の観光施設及び行政が同様のエコツアーをより安価で行っており、また、当協会内で山城めぐりに興味を持っている人も少ないことから、継続実施は困難な状況にある。しかし、できることなら2016年度（来年度）については大河ドラマの旬であるので、今年度のスノーシュー期に入る前に翌春のシリーズツアーをラインナップしたいと考える。
- ⑤ 冬期スノーシューツアーの利用客数が、一昨年比べて激減している。背景には火山活動活発化の他に、地域のエコツアー他団体の提供料金下落が影響していると考えられる。そのために価格競争に左右されにくい新たな冬期商品を開発する必要があり、それはある程度危険でキツイ仕事分野となる。今冬から新たにアイゼン・ピ

ツケルの使用を前提とした氷瀑めぐりツアー、冬山登山商品をラインナップする。

- ⑥ 当協会が提供・斡旋する登山プランの考え方は、「当地を訪問する旅行者・観光者に対して、当地を代表する、或いは突出する自然環境風土をご案内する」ためのものである。なので、旅行観光者に好まれそうにないものは（前向きには）取り上げない。ただし日本二百名山の「浅間隠山」「白砂山」、ぐんま百名山の内「王城山」「嵩山」「子持山」等は徐々に設定しておいても良いと考える。
- ⑦ 登山家の小池寛喜さんが理事入りしたこともあり、長期的な目標として上毛三山(赤城、榛名、妙義)のガイドプランの検討を開始する。手始めに妙義山から着手する。
- ⑧ 浅間・吾妻地区においては、すでに一般的なエコツアーは掘りつくした感があるが、それでも当地にこだわりエコツアー素材・コースを探していくと、変わったところや危険なところへとたどり着いてしまう。それにあやかり「プチ川口浩（インディ赤木）探検隊が行く」カテゴリを新たに設置する。すでにある「最後の秘境へ」「旧跡・廃墟・廃線跡」カテゴリと被るが、何だったら一緒にしてしまう考えもある。
- ⑨ 今年度は、ここ数年で実踏調査、開発実施したが商品化できていないものを丁寧に商品化し、未完成であった当協会ホームページを現状で完成させることを目指す。

上記のように当協会が個人客と団体客の双方において、より差別化させた特有のプログラムを拡充していくことは、現地体験プランの選択肢を増やし、個々のニーズを満足させることになる。これは、当地域の宿泊施設様にとっても同様の理由で宿泊ゲストを満足させることになり、また、単泊から連泊へと長期滞在を促す材料となりうる。ただし、当協会は宿泊施設の要望の為によりも、お客様自身が主体性を持って自ら現地での体験を求め、当協会に申し込み、その結果として周囲の宿泊施設に宿泊する状況になることを目指す。実際、冬期のスノーシューツアーのお客様はほぼそういう形態である。そのようなお客様を、誠心誠意を持っておもてなしするのが当協会のポリシーである。

黒岩咲貴さんと横坂敏行さんが応募した「野反湖プロジェクト 野反湖の水辺環境保全活動」が地球環境基金助成金で採択された。野反湖の水辺環境の保全・改善を目的として、湖畔・湖上・周辺駐車場の清掃活動を、当協会スタッフを中心にして地域住民・地域の小学生と共に行う予定である。

当協会の基幹事業であるエコツアーガイド養成講座（NEAL指導者認定）は、年々受講者が少なくなっている現状にある。講師料や会場費を抑えて実施しているが、10名未満は赤字となるために、今年度は最少催行人数を10名として企画し募集する。

昨年に引き続き、東吾妻町商工会青年部が中心となって企画運営している地域おこし忍者複合イベント「岩櫃城忍びの乱」において、子供向けのアスレチックランド「忍者修行わあるど」を開設運営する。日程は10月31日（土）～11月1日（日）で、会場設営等の準備は一週間前である24日（土）より行う。

現在、まとまった仕事がある季節は2月3月のスノーシューガイドと、6月7月の学生団体の対応のみとなっているが、本来は8月・夏休み期間中は草津・軽井沢・万座などに多数のゲストが来訪しているため、家族向けのキラープログラムの開発、また9月10月も秋の行楽シーズンで基本的には観光地は繁忙期である。紅葉狩り等行楽に来るお客様向けの気軽に参加できるエコツアー等の開発が望まれる。前出の新シリーズの開発/充実がその商品となれば幸いだが、常にアンテナを張りめぐらし、当地来訪者と当地観光施設のかゆいところに手が届くようなサービス事業を開発する。当協会はエコツーリズムの推進実施による地域の商業経済的潤いの他、現役世代がエコツーリズムを仕事として選択できるような社会になることも目標としている。

今年度より東吾妻町観光協会の正会員となり、東吾妻町観光協会及び東吾妻町観光課、コニファーいわびつ等の宿泊施設からパッケージ商品の提示を求められている。一般的な考え方としてはエコツアー参加料金が一律の、わかりやすいチラシを作り配布するのが良いであろう。当協会のツアー参加料金は人数によって異なる仕組みとなっているが、チラシ作成のためにいくつかのエコツアーにおいて2名様以上一律料金のプランを作る必要がある。該当ツアーは「吾妻溪谷」「岩櫃山」「岩櫃城址探検」の他、「本白根山」「黒斑山」「四阿山」も吾妻東部から送迎付きプランで問題はないと考える。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名        | 事業内容                                                                                                      | 実施<br>予定<br>日時       | 実施<br>予定<br>場所 | 従事者<br>の予定<br>人数 | 受益対象者<br>の範囲及び<br>予定人数                               |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|----------------|------------------|------------------------------------------------------|
| ホームページ運営事業 | ① 関係機関ホームページへの情報登録、更新<br>② ホームページ作成事業<br>③ 個人、一般団体、学校の教育旅行のお客様に対してのエコツアー/体験イベント/セミナー・講習会/その他サービス事業の販売宣伝事業 | 2014年4月1日～2015年3月31日 | 当協会事務局         | 1人               | 当地域のエコツーリズム及びヘルスツーリズムを推進実施する個人または団体と、その団体への参加者 4000名 |

|                                      |                                                                                                         |                         |                               |     |                                                                       |
|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|-------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------|
| 自然体験活動指導者養成事業                        | 浅間山麓・吾妻地域においてエコツアーリズム及びヘルスツーリズムを企画・実施できる人材を養成する。                                                        | 2015年1月22日(金)～24日(日) 予定 | 嬭恋村商工会館                       | 5人  | 浅間山麓・吾妻地域への訪問者に対し、エコツアーリズム及びヘルスツーリズムを企画・実施することに対し興味がある18歳以上の健康な男女 30名 |
| 野反湖プロジェクト<br>野反湖の水辺環境保全活動(地球環境基金助成金) | 野反湖の水辺環境の保全・改善を目的として、湖畔・湖上・周辺駐車場の清掃活動を、当協会スタッフを中心にして地域住民・地域の小学生と共に行う。                                   | 2015年6月1日～2016年3月31日    | 中之条町野反湖                       | 10人 | 地域の住民、観光事業所、小中学生、及び野反湖の清掃活動に興味がある方計100名                               |
| あがつま都市山村交流プログラムへの協力                  | 当協会の姉妹団体である「あがつまエコツアーリズム協会」による、中之条町入山地区にある、「花楽の里」の“うらやま”エリアの森を「都市と農山村の交流の森」にするための事業の、森林整備作業及び広告宣伝に協力する。 | 2015年6月1日～2016年3月31日    | 中之条町入山地区にある「花楽の里」<br>“うらやま”の森 | 10人 | 親子自然体験プログラム参加者<br>合計50名                                               |
| 岩櫃城忍びの乱協力事業                          | 地域おこし忍者複合イベント「岩櫃城忍びの乱」において、子供向けのアスレチックランド「忍者修行わあるど」を開設運営する。                                             | 2015年10月24日(土)～11月1日(日) | 東吾妻町コニファーいわびつ                 | 10人 | 「忍者修行わあるど」への参加者約200名                                                  |

(2) その他の事業

実施する予定無し。

# 平成27年度特定非営利活動に係る事業会計活動予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 浅間・吾妻エコツーリズム協会

| 科 目                      | 金 額       |           |           |
|--------------------------|-----------|-----------|-----------|
| I 収入の部                   |           |           |           |
| 1 会費・入会金収入               |           |           |           |
| 入会金収入                    | 0         | 0         |           |
| 正会員会費収入                  | 0         | 0         |           |
| 賛助会員会費収入                 | 0         | 0         |           |
| 2 事業収入                   |           |           |           |
| ホームページ運営事業収入             | 4,500,000 |           |           |
| 自然体験活動指導者養成事業収入          | 300,000   | 4,800,000 |           |
| 3 寄附金収入                  | 0         | 0         |           |
| 4 補助金等収入                 | 1,400,000 | 1,400,000 |           |
| 5 雑収入                    |           |           |           |
| 預金利子                     | 0         | 0         |           |
| 6 その他の事業会計からの繰入金収入       | 0         | 0         |           |
| 当期収入合計 (A)               |           |           | 6,200,000 |
| II 支出の部                  |           |           |           |
| 1 事業費                    |           |           |           |
| ホームページ運営事業費              | 3,800,000 |           |           |
| 自然体験活動指導者養成事業費           | 300,000   |           |           |
| 野反湖プロジェクト                | 1,400,000 | 5,500,000 |           |
| 2 管理費                    |           |           |           |
| 役員報酬                     | 20,000    |           |           |
| 給与手当 (事務局職員)             | 0         |           |           |
| 車両費                      | 140,000   |           |           |
| 光熱水費                     | 0         |           |           |
| 通信費                      | 40,000    |           |           |
| 印刷製本費                    | 30,000    |           |           |
| 消耗品費                     | 40,000    |           |           |
| 旅費交通費                    | 20,000    |           |           |
| 地代家賃                     | 120,000   |           |           |
| 交際接待費                    | 10,000    |           |           |
| 荷造運賃                     | 10,000    |           |           |
| 研修費                      | 20,000    |           |           |
| 租税公課                     | 100,000   |           |           |
| 諸会費                      | 140,000   |           |           |
| その他                      | 10,000    | 700,000   |           |
| 3 予備費                    | 0         | 0         |           |
| 当期支出合計 (B)               |           |           | 6,200,000 |
| 当期収支差額 (A) - (B)         |           |           | 0         |
| 前期繰越収支差額 (C)             |           |           | 1,185     |
| 次期繰越収支差額 (A) - (B) + (C) |           |           | 1,185     |

# 平成27年度その他の事業会計活動予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 浅間・吾妻エコツーリズム協会

| 科 目                                   | 金 額 |   |   |
|---------------------------------------|-----|---|---|
| I 収入の部                                |     |   |   |
| 1 事業収入                                |     |   |   |
| エコツーリズム及びヘルスツーリズムに<br>関する書籍の卸・販売事業    | 0   |   |   |
| エコツーリズム及びヘルスツーリズムに<br>関する教材、物品の卸・販売事業 | 0   | 0 |   |
| 当期収入合計 (A)                            |     |   | 0 |
| II 支出の部                               |     |   |   |
| 1 事業費                                 |     |   |   |
| エコツーリズム及びヘルスツーリズムに<br>関する書籍の卸・販売事業    | 0   |   |   |
| エコツーリズム及びヘルスツーリズムに<br>関する教材、物品の卸・販売事業 | 0   | 0 |   |
| 2 管理費                                 | 0   | 0 |   |
| 3 特定非営利活動に係る事業会計への繰出                  | 0   | 0 |   |
| 当期支出合計 (B)                            |     |   | 0 |
| 当期収支差額 (A) - (B)                      |     |   | 0 |
| 前期繰越収支差額 (C)                          |     |   | 0 |
| 次期繰越収支差額 (A) - (B) + (C)              |     |   | 0 |